

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

嶋岡 壯吉

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
7/31	政策集団明瞭化に	49980.-		49980.-
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				49980.- 円

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 近森 正利 様		報告者	議員名 嶋岡 壯吉
研修会名	政策集団明日のために		
日 時	2020年7月31日 金曜日 15:00 ~		
場 所	伊賀市議会委員会室		
1、議会の役割と機能			
<p>民意の反映とか議決権の行使については本来の責任を認識して活動をしているのか 又、本来の二元代表制は行使されているのかはいささか問題であると言わざる得ない ように感じられる。執行機関の事務執行はどの様になっているのか、議員 の殆どが個人中心としての行動と考えざる得ないように思われる。要するに、現状で は惰性で行動しており、政策形成機能の発揮は成されていない様に感じられる。</p>			
2、議員に資質			
<p>議員の資質は政策提言や政策立案を行っていき、又、調整能力も考慮し、専門性を 高める研修などをされている期間が少ないのは今後考えていく必要があるのでは。</p>			
3、予算案の審議等について			
<p>丁寧な熟議は本当に行われているのか考えなければならない。</p>			
4、議員の提案条例について			
<p>条例案は市長が提案するものとの潜在意識と議会は行政のチェック機関である。 政策提言機関では無いという考え方が一般的であり、伊賀市議会からの提案は皆無に 等しい。意識改革を急ぐ必要あり。</p>			
5、通年議会について			
<p>議員間ではたびたび話が出ているが、考え方の違う議員もあり、なかなか賛同が得 られてないのも事実である。現在、市長・議員の同日選挙の話が先行している。この ことも重要であるが、優先順位としては通年議会であると小生は思う。</p>			
6、政務調査費について			
<p>各議員の責任において、全額使い切るほどに勉強すべきであり、返還はあり得ない とのことであったが、なかなか中身のある使用は難しい。 以上</p>			
費 用	旅費：	円	研修参加費： 9,980円 合計 円

領収書等添付用紙

議員名

嶋岡 壯吉

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

領収書

2020(令和2)年7月31日

嶋岡 壯吉 様

¥9,980円

但し、政策集団明日のために(仮称)第一回勉強会費用、研修費として

政策集団明日のために(仮称)
第一回勉強会 担当
田中 覚
伊賀市緑ヶ丘南町4036番地
0595-24-6661



明細は 田中議員の報告書に添付

第一回勉強会 事項書

1、と き 2020（令和29）年7月31日 金曜日

15時～

1、ところ 伊賀市議会

1、参加者

1、開会の言葉 第一回当番 田中 覚議員

- ・後援会活動と議員活動について
- ・東町ポケットパークにみる意思形成のプロセス
について

1、記念講演 高沖秀宣氏

(別紙 プロフィール)

(別紙 レジメ)

1、質疑応答

1、講評と閉会の言葉 安本美恵子議員